

緊急事態宣言後の藤枝駅周辺

地域ぐるみ(約 70 人)で防犯パトロールを実施

(担当：青島北・青島南地区交流センター)

青島地区の安全・安心にかかるすべての団体が組織する「青島地区防犯まちづくり推進協議会」が、緊急事態宣言が明けた藤枝駅周辺の夜間の防犯パトロールを行いました。

今年度は、コロナ感染予防のため規模縮小での実施が続き、今回が実質的な第一回目であったことから、この日の参加者はなんと総勢約70人。



(藤枝駅前交番前での出発式)



(オーレ前広場での出発式)

関係部署である市担当課や藤枝警察署、市防犯協会の職員にも参加いただきました。

出発式は、3密を避け、「駅前交番前」と「オーレ前広場」の2箇所に分散し実施。市交通安全・地域安全課長、藤枝警察署生活安全課長などから挨拶があり、士気が高まる中、4地区に分かれて、藤枝駅周辺をくまなく歩きました。

安心・安全なまちづくりは、地域ぐるみで目を光らせることが大事です。この日は、無施錠の自転車を25件発見。依然として多い状況にあることから、今後も引き続き、注意を呼び掛けてまいります。

マスクを着用して互いの間隔を空けるなど、感染対策を意識しながらのパトロール、参加していただいた地域の皆さん、本当にありがとうございました。



※この取り組みは平成21年度から継続して行っており、今後も引き続き、実施していく予定となっています。